

北斎、日本に帰る

『琵琶に白蛇図』

葛飾北斎筆

綴プロジェクト作品
(高精細複製品)

Vol.03

綴TSUZURI
文化財未来継承プロジェクト

北斎の線で、森羅万象が動きだす。

美しい袋に包まれた琵琶を、一匹の白蛇が這う。獲物を狙うかのように光る目。細かい鱗にびっしりと覆われた身は今にもするすると動きだしそう。生命感あふれる筆遣いが見事な『琵琶に白蛇図』は、葛飾北斎晩年の八十八歳の作品である。森羅万象を「一つの点、一本の線」だけでも生きているかのように「描くことを画業の到達点とし、亡くなる直前まで身近な動植物を写生し続けた」という北斎。怪しく身をくねらせるリアルな蛇の姿は、枯れることのない挑戦から生まれたのだ。

「琵琶に白蛇図」をはじめ、明治時代に北斎の作品を収集したフリーア氏は、肉筆画にこそ絵師の筆致がそのまま表れると考えていました。精密に描かれた白蛇の鱗一つ一つは、北斎の優れた筆遣いを今に確かに伝えていきます。これまで門外不出だったこの作品を、高精細複製品で間近にご覧いただき、日本が誇る北斎の技を感じていただきたいと思います。

日本の美を、人へ、

未来へ、伝えていく。

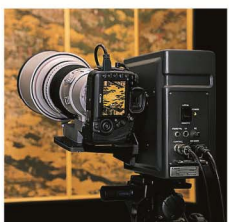


びわにしらへびす
綴プロジェクト作品 琵琶に白蛇図

葛飾北斎筆 原本所蔵：スミソニアン協会フリーア美術館 寄贈先：墨田区

Facsimiles of works in the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C. : Gift of Charles Lang Freer, F1904.134.

「綴プロジェクト」は、貴重な日本の文化財を高精細複製品として制作し、オリジナルの保存と複製品の公開を目的とする社会貢献活動です。今回、フリーア美術館所蔵で門外不出の葛飾北斎の肉筆画13点の複製品を制作、里帰りした作品は墨田区のすみだ北斎美術館に収蔵されます。日本では観られない貴重な作品を身近に鑑賞する機会を提供していきます。



詳細は、公式サイト
でご覧いただけます。
global.canon/ja/tsuzuri

公開情報

二〇一九年十一月二十四日(日)に、綴プロジェクト作品をすみだ北斎美術館講堂で展示します。(午後一時三〇分から三時三〇分をのぞく)

Canon